

講演会

ホモロジーモデリング(ナノ生命設計)と創薬

日時 2009年6月18日(木) 14:00~17:20

会場 北里大学薬学部コンベンションホール

参加費 無料

時間	講演者	講演タイトル
14:00~15:00	寺田 弘 (東京理科大学薬学部)	さじ加減の科学：医薬投与法の個別化と薬学研究
15:00~16:00	石黒 正路 (新潟薬科大学応用生命科学部)	蛋白質の機能と Mechanism-based Ligand Docking
16:00~17:20	梅山 秀明 (北里大学薬学部)	タンパク質立体構造のホモロジーモデリング研究 ーナノ生命設計ー

1980年代半ば Protein Data Bank (PDB) の登録数が僅か 200 件程度であった頃、蛋白質立体構造予測は、球棒モデルでの文字どおり手作りによるものでありました。その後 PDB登録数の指数関数的な伸びとともに、高精度・高効率ホモロジーモデリング理論が強く求められ、現在までに structure-based drug design の根幹である標的蛋白質立体構造情報を与える必要不可欠な in silico 方法論として発展・確立されてきました。そのような背景の下、この度、ホモロジーモデリングを巡る最新研究と今後の展望を学ぶ講演会を企画いたしました。創薬現場研究者を始め、本領域にご関心ある皆様多数のご参加をお待ちしております。

主催 有志 (藤田稔夫 (京都大学名誉教授), 寺田弘 (東京理科大学), 藤原英明 (大阪大学), 石黒正路 (新潟薬科大学))

共催 北里大学薬学部生物分子設計学研究室

実行委員会 竹田 - 志鷹真由子 (委員長・北里大学), 寺師玄記 (北里大学), 加納和彦 (北里大学), 久保寺英夫 (田辺三菱製薬)